とで、早くしなさい！と、つい子どもをせかしてしまいませんか？子どものペースを考えていますか？大人の時間に合わせてしまっていませんか？」という言葉にドキッとした方も多かったようです。

障害があるから何も出来ない……とあきらめない、渡辺さんは様々なことに挑戦したそうです。「高飛びは1位になった選手でも、最後は失敗して終わるんです。何事も失敗をおそれないでやってみることが大切なことです」と力強いお話しをされ、まだまだ自分たちも頑張れるかもしれない……そんな勇気をいただきました。

参加者から

◆渡辺先生の話を聞いて、自分の指導の仕方を見直すことができました。先生の前向きな素晴らしい生き方、感動しました。自分も渡辺先生のような生き方をしたいと思いました。また、福祉について考えさせられたことを子ども達に伝えて行ければと思います。

◆渡辺先生のお話の中で「失敗しても当たり前」「やれば出来るかもしれない」「やる前からあきらめていたら終わり」という言葉が、まず心の中に響いてきました。私たち教育に携わる人間も一歩ずつハードルを上げられるように課題を見つけて一緒に乗り越えていきたいと思いました。また、我々にとって障害→急ぎすぎることが障害。遠回りも回り道もいいじゃないか……本当にそうです。最後に「相手の立場になって物事を考えて、言葉をだして行動する。」そうありたい！と思いました。

◆今日は、渡辺先生のお話を聞いてとても勉強になりました。毎日時間に追われ私も子供も「早く早く」と言っております。又、出来ないとしまいには怒鳴っています。先生がおっしゃったとおり良い結果には繋がりません。これからは、少し気持ちに余裕を持って見守る時間を持てるように努力したいと思います。目が見えない人は、とても可愛そうだと思っていましたがそうではないんですね！先生は、ものすごく前向きで立派でした。盲導犬がこれから1頭でも増えれば良いと思います。

◆忙しい日々の中では忘れてしまうとても大切な思いを、このような時間に取り戻せる、すごくいい機会だと参加する度に感じます。なかなか足を運ぶのは大変ではありますが、時間が合えばまた参加したいと思います。今日の講師の方については、すごく強い人だなぁと思います。自分の子供も、こんなに強く生きてくれたら幸せだなぁと思います。

◆とても短く感じた講演でした。目に障害があっても、とてもイキイキ話してくださって楽しく感じた。盲導犬も間近に見るのも初めてでしたし、とてもお利口で感激でした。私たちと何も変わりなく、もしかしたらもっと素敵にいきいきと毎日を過ごしているのかもしれないと感じることができました。このような講座は本当に貴重な体験だと思います。ウララも元気で過ごせればなによりだと思いました。障害を持った方というよりも、1人の人間として、人生の先輩として良いお話しを聞けたと思います。相手を思いやる気持ちを持って行動する事は、自分でも考える以上にむずかしい事なのかな？と思いました。もしかしたら、人を知らず知らず傷つけていることがあるのかもしれないと思いました。私も早く早くと子供をせかすことがあったと反省しています。もっとゆったりと生活していきたいものだと思います。失敗をおそれずに…